

「被災資料への対応—水害からの資料救済を中心に—」

## 水害時の資料救済方法とその考え方

国立歴史民俗博物館・准教授

天野真志

### はじめに

#### ◆自然災害の多発化・多様化

「想定外」の常態化～災害発生時における歴史文化の災害対策が課題

- ・水害との対峙：施設への被害、資料の汚損・破壊・・・  
→中長期的対応を見据えたマネジメントの必要性
- ・実践事例の蓄積：具体的な技術・手法が提起  
→多様な技術を活用する上での課題と可能性

### 1. 災害多発期の資料保存

#### ◆災害対策に取り組む主体の多様化

- ・文化財防災センター：全国規模でのネットワーク構築
- ・博物館、図書館、文書館等：機関の特性に応じた資料への対応
- ・大学、資料ネット等：地域的ネットワークの構築

#### ◆活動実践の蓄積

活動紹介の広がり：各活動主体による報告が具体化

※特に 2011 年東日本大震災以降、救済方法や技術紹介が活発に

→「文化財防災」、「資料救済」、「レスキュー」の実践を共有化する潮流

#### ①事例紹介

- ・レスキューの取り組みを紹介：発災～対応～成果と課題を報告  
→実践事例の蓄積・・・経過と構成員、対象資料の状況などの紹介

#### ②マニュアル製作

- ・活動実践を踏まえた救済方法のマニュアル化  
→古文書、図書、写真等を中心とした資料への対応方法を具体的に紹介  
必要な道具の紹介、行程、NG 事項等

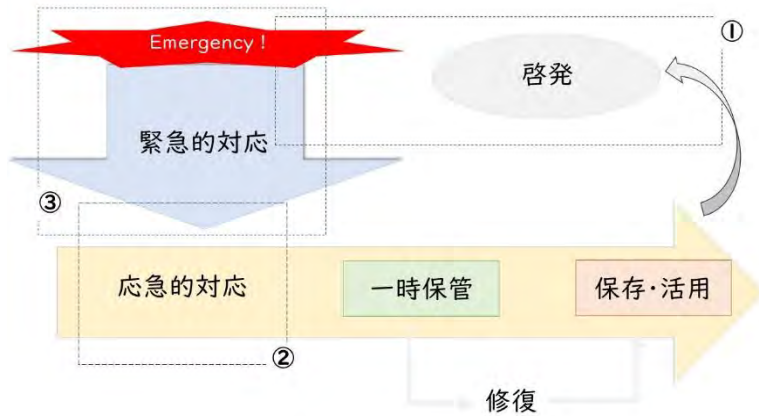
#### ◆事例・マニュアルの活用と課題

「「知っていた」つもり」：提示された内容と直面する事態とのギャップ [石田 2020]

## 2. 資料救済訓練の現況

◆資料救済を想定したトレーニングとしてのワークショップの多様化

①啓発型 WS ②技術訓練型 WS ③行動計画型 WS



### 【資料保存のコミュニケーション】

◆資料保存における専門家・専門知のあり方を考える

災害対策におけるマニュアルの読み方を考える: ケースバイケースが多すぎることへの対応

→どのポイントでいかなる専門性や方法が必要になるのか

各地の対応例(成功例・失敗例)やそれを基にしたマニュアルの活用法の検討

・マネジメントを考えるトレーニングの必要性≠技術・技法習得の訓練

→災害対応マネジメント・・・「レスキュー」の実務者養成

ex.現状の把握→到達点の設定→目標に向けた行程の考案→認識の共有→実践・再検討

⇒「レスキュー」の到達点=応急処置・一時保管に向けた一連の行動を遂行するための訓練

## 3. 課題検討型ワークショップの可能性

◆「「知っていた」つもり」と向きあう

地域や被災状況、活動主体によって対応法は流動的

→資料救済の考え方や準備を検討、現場での実践に備える技術訓練

多様な担い手が参加可能な活動の場を設定～連携の可能性を探る

(1) 考え方をすりあわせる場としての WS

・経験や知識を一方向的に押しつけない: 地域や被災状況、立場によって対応法は流動的

→何をどこまでしたいのか、そのためには何が必要か

(1) 失敗を経験する場としての WS

・実際の作業現場では失敗できない～成功例・模範例を学ぶだけで良いのか?

→参加者が保有している情報・技術のみで試行錯誤し、失敗・成功の結果を考え合う

◆経験値を検証する

自然災害対応は多様: 被災程度、対象資料、作業人員、時間的猶予...

→特定の知識・経験に限定せず、状況に応じた行程の設定、技術選択の必要性

到達点・目的に向けた認識の共有～作業設定の考え方を協議すること

## おわりに

### ◆「担い手」の多様性

現場統括・作業参加・技術支援...立場に応じた災害対応への参画

→人材育成の手段も多様であるはず

ネットワークという潮流から考える

→多様な立場、業種が協働するための認識（共通言語）の必要性

### 【参考文献】

- 石田雅春 2020 「広島歴史資料ネットワークの再建と広島大学文書館でのレスキュー活動について」(『芸備地方史研究会』315・316)
- 奥村 弘 2012 『大災害と歴史資料保存』(吉川弘文館)
- 奥村弘編 2014 『歴史文化を大災害から守る』(東京大学出版会)
- 高妻洋成等編 2023 『入門 大災害時代の文化財防災』(同成社)
- 天野真志 2021 「資料保存をとりまくネットワーク」(『カレントアウェアネス』347)
- 天野真志 2021 「地域歴史文化の継承と「資料ネット」活動」(『歴史評論』855)
- 天野真志 2023 「紙媒体資料の救済を想定したシミュレーションワークショップの検討と実践」(文化財保存修復学会第45回大会ポスター発表)
- 天野真志・後藤真編 2022 『地域歴史文化継承ガイドブック』(文学通信)
- 天野真志・吉村郊子編 2023 『REKIHAKU 特集 歴史をつなぐ』(国立歴史民俗博物館)
- 天野真志・松下正和編 2024 『地域歴史文化のまもりかた』(文学通信)
- 天野真志・小野塚航一 2024 「大災害時代における地域歴史資料の保存・継承」(『歴史学研究』1051)